

テーマ 地域人材の力によって、協力し合える心豊かな
子どもを育てよう。

- 目標
- ・奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。
 - ・学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
 - ・どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
 - ・親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
 - ・幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、よりよい人間関係づくりを進める。

今年度の取組紹介

- ・【高校生と遊ぼう】平城高校生が企画から当日の運営までに関わり、1月11日（土）に北部会館で実施しました。幼児から高齢者まで約150人の参加がありました。高校生が企画から当日の運営まで関わる取組は本事業としては奈良市初と伺っています。
- ・【歴史ウォーク】「奈良の文化・伝統のよさを知ること」を目標に、11月4日（月・祝）に、「磐の媛陵」「瓢箪山古墳」「成務天皇陵・日葉酢媛陵」などを歩きました。当日は、「NPO法人 なら・観光ボランティアガイドの会〈朱雀〉」の方々にガイドをお願いし、それぞれの歴史的意義を深く知ることができました。また、平城高校生にも協力を願いました。参加者は100人以上にのぼり、秋空のもと実りある取組となりました。



今年度のまとめ

【歴史ウォーク】では、100人以上の参加者があり、秋空の下、自分たちが住む校区周辺及び奈良の歴史を学び、奈良のすばらしさを実感するという成果がありました。【高校生と遊ぼう】は、平城高校の生徒が企画から当日の運営までに積極的にに関わり、幼児から高齢者まで約150人の参加がありました。内容も、幼児から高齢者まで楽しめるもので、バラエティに富んでいました。この事業により、高校も含んだ地域のコミュニティの深化や感動体験という成果がありました。

来年度に向けて

基本的には、今年度と同様の事業を展開する予定ですが、【歴史ウォーク】に参加している子どもが少ないことが課題で、広報の時期や内容も含めて見直しが必要であると思います。

テーマ

知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動

を子どもたちに！

目標

地域の社会人から直接、学ぶ機会を増やし、キャリア学習、平和学習、国や郷土の文化・伝統を学ぶ等の機会をもち、体験的な活動を行うことによって生きて力を身に付けさせたい。また、学校や地域の環境整備のための生徒のボランティアを活発化させ、社会に役立つ経験をもたせる。さらに、そのようにして身に付けた力を生かして生徒自身や集団で活動の成果をまとめ、地域の方々などに向けて発表させる。

今年度の取組紹介

【地域に開かれた文化発表会】では、学校での学習を地域に発表する機会として、9月26日（木）の文化発表会を開放しました。当日は、地域教育協議会委員、来賓、PTA 役員、校区幼稚園・小学校教員、生徒保護者等、たいへん多くの方々の参加がありました。

【地域の伝統音楽】

12月9日（月）に、講師を招いて3年生の音楽の授業で尺八の演奏鑑賞及び体験を実施しました。ほとんど全ての生徒が初めての体験で、日本の伝統音楽に触れる貴重な体験となりました。

【クリーン大作戦】

本校生徒の有志が、校区内のゴミ集め・清掃活動を行いました。

100人以上の生徒が集まりました。



今年度のまとめ

【地域に開かれた文化発表会】では、参観された地域の方から、「今までいろいろな学校の文化祭を見てきているけれど、こんなすばらしいものは見たことがない。平城東中学校の生徒を見ると、『真面目に一生懸命やることが、格好良い』と思っていることが、ひしひしと感じられる。」と高い評価をいただき、学校を地域の方に知っていただく絶好の機会になりました。

【地域の伝統音楽】では、日本の伝統音楽を学習する良い機会になり、生徒たちが「自分たちが生きている日本についてのすばらしさを実感するとともに、誇りをもった」と感想を述べており、一定の成果があったと考えています。

【クリーン大作戦】に参加した生徒から、「地域に少しは恩返しができた。」と述べる生徒もいて、地域への感謝の気持ちや社会に役に立つことの満足感を体験したと考えています。

来年度に向けて

基本的には、今年度の事業を継続・発展させていきたいです。地域の方とふれあう機会を増やしていくことが課題であると考えています。

テーマ

心豊かに いきいき 輝く 朱雀っ子

目標

大人と子どもが、共にいきいき過ごせる町づくり

今年度の取組紹介

昔あそび

地域のおとしより（朱雀万年青年クラブの方々）をお迎えして、1年生が昔あそびを教えてくださいました。けん玉やお手玉、それに羽子板やこま回しなどお正月の遊びも教えてくださいました。

「子どもたちと一緒に過ごすことで、私たちが元気をもらっています。また、来ますよ。」と、ありがたい感想をいただきました。



保・幼・小連携

地域の子どもたちを共に育てていくという目標をもち、朱雀保育園・朱雀幼稚園・朱雀小学校が連携を図っています。本事業ではとくに「シャボン玉遊び」と「紙飛行機とばし」の二つの事業を行っています。校園の枠をはずした取組みで、子どもたちは年上に憧れをもち、年下には優しく接するという気持ちが育っています。



今年度のまとめ

今までは保護者だけが対象だった「音楽会」と「作品展（朱雀っ子展）」に、今年は地域の方や学校ボランティアの方々を招待しました。以下は、その感想の一部です。

「朱雀に住んで数十年になりますが、はじめてゆっくりと音楽会を聴かせてもらいました。心の底から感動し、元気をもらいました。ありがとうございました。」

「作品を見ていると自分の小さかった頃を思い出しました。作品を見ているだけで子どもたちからパワーをもらい、いやされました。来年もまた、楽しみです」

来年度に向けて

子どもと関わることによって、地域の方にどれだけたくさんの元気や力を与えているかということにあらためて気が付きました。今までは、ボランティアの方にご協力をいただくことを第1に考えていましたが、これからは、子どもたちと触れ合っていただく時間をたくさん設け、逆にこちらから元気や勇気を届けることも大切だと感じました。

学校への信頼が少しずつ増してきている気がします。

テーマ

地域と共に笑顔いっぱい元気いっぱい佐保台っ子

目標

児童一人一人に様々な感動体験を通して豊かな心を育む

今年度の取組紹介

今年度も環境美化活動、図書館活動、パソコン学習、福祉体験学習を地域の方やゲストティーチャーの方に支援をいただきながら進めました。

環境美化活動事業では、校内の環境美化活動の一環として、環境委員会が中心となり栽培活動に取り組みました。花の苗植や草刈り、草引きなどの作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。校外の活動としては、校区にある平城山電車区の美化運動に協力し、毎年2年生が花の苗植に出かけています。

パソコン学習事業では、パソコンの専門家の支援をいただき、全学年でICTを活用した学習を進めました。低学年は「お絵かきや簡単なお手紙作り」、中学年は「ローマ字打ちで名刺や自己紹介文」、高学年は「パワーポイントでプレゼンテーション」等、系統立てたパソコンのスキルを学び、児童のプレゼンテーション力の向上を図ることができました。

図書館活動事業では、地域の図書ボランティアの方の協力を得て、子どもたちの読書活動を推進しました。特に図書室の環境作りやブックトーク、絵本の読み聞かせにアドバイスをもらい、図書委員会の活動が充実したものとなりました。また、ゲストティーチャーを招き、低高別に読み聞かせを行い、子どもたちに相手を思いやる深い心と生きる力を育みました。



今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたるとともに、子どもたちに感動体験を通して魅力ある取組を行いたいと考えました。そして、地域や親子とのふれあいを支援し、地域のすばらしい人材を広い意味で活用し、連携を深めました。こういったなかで、地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育つものと思いました。また、これらの活動を通して今日的な課題である情報・福祉・環境・国際理解教育の推進にも力を注いでいき、子どもたちに豊かな心を育みたいと考えます。

来年度に向けて

様々な活動や体験を地域の方々の支援を得ながら進めることができ、教室だけの学習ではなかなか難しい多くの学びがありました。このような取組は、継続的に進めてこそさらに大きな効果が表れてくるものと思います。また来年度も活動内容を工夫し、発展継続していきたいと考えます。

テーマ

地域へ発信！つながる左京

目標

地域の方々とともに体験活動をしたり、活動に招いたりすることを通して、子どもたちに「ふるさと左京」の心を育む。

今年度の取組紹介

今年で6年目を迎え、左京地区地域交流最大の行事として定着した「左京夏祭り」に、平城ニュータウン楽しい理科実験研究会の先生に来ていただき「おもしろ理科実験教室」を開催しました。普段の理科の授業にはないおもしろい実験ばかりで、子どもたちは興味深そうに取り組んでいました。6年生の理科の授業にも来ていただき、高学年向けの理科実験教室も行いました。



10月19日、子どもたちに「子ども安全の家」の旗設置場所の確認と旗設置者や地域ボランティアの方々とのふれあいを通して、スタンプラリーを楽しみながら、子どもたちの防犯意識を高めることを目的に、小学生と幼稚園児、その保護者の参加を得て、「子ども安全の家」スタンプラリーを実施しました。スタンプラリーの後、奈良警察署生活安全課による「助けて～」と叫ぶ声の大きさを比べる大声コンテストがあったり、奈良市教育委員会いじめ対策生徒指導室指導主事のお話を聞いたりしました。また、運営委員会コーディネーターが、「子ども安全の家」や店、公園、自動販売機など、目印になるものを立体的に貼って作成した4m×6mの校区拡大地図で、子どもたちは自分の家を確認しました。



今年度のまとめ

万年青年クラブの方々との清掃活動「クリーン左京」や「左京の森」に花を植える活動を通し、万年青年クラブやグリーンサポートの方々との交流をもち、ボランティア活動への思いや願い、苦労などを実感させ、コミュニケーション能力を養うとともに、自分が社会の一員であるという自覚を深めさせることができました。また、理科実験教室や名人さん大会、ふれあい夢スクールの活動など、地域の達人を講師として学ぶ活動に積極的に取り組み、地域の方々とのふれ合いながらさまざまな体験活動を行うことができました。学校評議員からも「地域と連携を図り、子どもたちのよりよい環境づくりに配慮した取組になっている。」などの声をいただきました。

来年度に向けて

来年度は今年度の活動を更に充実させ、「地域を教材」にした活動・「地域の方に学ぶ」活動・「地域の方々とともに」行う活動の充実を図っていきたいです。学校が地域と連携し、地域の教育力や教育資源をより一層活かした教育活動を展開するとともに、地域の人々の交流の場（地域コミュニティの拠点）として機能できるよう、今まで積み重ねた結果を大切にするとともに、新しい取組を織り交ぜながら、左京地区を大好きになる（ふるさとと思える）子どもの育成を目指していきます。

テーマ

みんなの笑顔がきらきら輝く朱雀幼稚園

目標

- ・夢中で遊びながら感じる心を豊かにしていく
- ・体を動かして遊ぶことを喜び、健康な心と体をつくる
- ・いろいろな人と心を通わす体験を積み重ねる
- ・自分達の住んでいるならのまちの様子を知り愛着の気持ちをもつ

今年度の取組紹介

- ・万青さんの温かい人柄を感じ取りながら、七夕集会で一緒に音楽演奏を聞いたり、生活発表会に招待したり、おもしろふしぎ実験で一緒に実験をしたりして、心に残る楽しい時間を過ごしました。
- ・本年は地域の方の畑に招いていただき、身近な自然の中でトマトの収穫、虫探しなどをして子ども達の感じる心を育てていきました。
- ・北消防署へ出掛け、救急車や消防車を見たり話を聞いたりし、仕事へあこがれの気持ちをもちました。
- ・地域の方と一緒にならまちに出掛け町の様子を見たりわらべ歌をしたりしました。
- ・朱雀お話の会、腹話術ではたくさんのお話を届けていただき、話を聞く態度が育ち、子どもの心の中にたくさんのお話のため込まれていきました。
- ・地域の名人さんの手品やなんきんたますだれは、不思議でわくわくして自分達もやってみようと挑戦する姿につながりました。
- ・地域の公園ボランティアさんと、保育園、幼稚園、小学校（3年）が触れ合いながら、平城第二公園の花植えを体験しました。
- ・環境ボランティアさんによる草引き、木の剪定、花壇や畑づくり、土山の修理、くすの木ブランコ、森のテーブルといすの設置をし環境作りに協力をいただきました。
- ・図書ボランティアさんと保護者の協力で、子どもが喜ぶ絵本の部屋の大改造にとりくんでくださいました。



今年度のまとめ

- ・年間を通して、講師を招いての体操教室はとても楽しく、親子でも、土曜参観と一緒に遊び、子育て支援につながりました。またサッカー教室でも、夢中で遊び体力づくりにつながりました。
- ・地域の畑に出掛け自然の中で思いっきり遊び感じる心を豊かにしていきました。保護者にも自然の中で遊ぶことの大切さを啓発でき、たくさん感想が寄せられました。
- ・朱雀お話の会からは、年間を通してお話を届けていただき、子ども達がお話に耳を傾け、成長する様子が感じられ、お話の会の方も、子ども達の育ちを実感していただく機会となり、幼稚園教育を啓発できました。
- ・毎月第二水曜日、環境ボランティアさんに手助け頂いています。そこでカレーパーティーに招待し収穫の喜びを共有し、親しみの気持ちをふかめていきました。

来年度に向けて

- ・来年度も講師先生を招いたりサッカー教室をして、引き続き体力づくりに取り組みます。
- ・絵本の部屋の大改造に引き続き取り組むと共に、絵本を購入していきます。
- ・環境ボランティアさんとつながりを深めていけるように、園行事と重ねたり招待したりしていきます。

テーマ **わくわく・どきどき・心豊かに育ち合う楽しい幼稚園**

目標 **心を動かす体験活動を通して、生き生きと生活する心豊かな幼児を育てる。**

今年度の取組紹介

地域の名人さんに学ぶ

— 一緒に遊ぼうわらべうたの会 —
土曜参観にてゲストティチャーの方に、いろいろなわらべうた遊びを教えてください、ボランティアさんやお家の人と一緒に体を動かして遊びました。



— 命を守る防災の話 —

3・4・5歳児が、地域の方からの阪神淡路大震災・東日本大震災で活動された話を聞き、命の大切さと避難訓練の重要性を改めて感じました。



— 生け花体験 —

5歳児が、地域の名人さんにクリスマス向けの生け花を教えてくださいました。花を丁寧に扱う姿や園児の感性を生かした個性豊かな作品が、でき上がりました。園内作品展に展示し、保護者や地域の方々、小学生にも見て頂きました。



感動体験

— 「左京の森」で年間を通して自然体験活動 —

地域の名人さんにサツマイモの苗植え・ダイコンの種まき・収穫を、畑づくりから苗の植え方・世話の仕方等について教えてくださいました。水やり、草引き等のお手伝いもして頂き、みんなの畑の作物は大きく育ち、収穫を楽しむことができました。サツマイモ掘りでは、名人さんと一緒に蔓を引っ張って掘り出しました。「やったあ。」と、歓声も



大きく「もっと、掘ろう。」と意欲的に取り組み、収穫の喜びを地域の方と味わうことができました。また、各家庭に持ち帰り、いろいろな料理にいただき「とっても、おいしかった」との声がたくさん聞かれました。

今年度のまとめ

認定こども園として開園し2年目を迎え、地域の子育て支援センターとして0歳児から5歳児の生きる力の育成に取り組んできました。心豊かに生き生きと生活する子どもの育成に向けて、佐保台校区と左京校区の方や地域の施設の皆さん、多くの方々の協力を得、感動体験をする事ができました。特に「奈良の良さに触れる・出会う・感じる」取り組み、3歳児・4歳児・5歳児全園児が「奈良の良さ」に触れることができました。地域の方々と繋がってきていることを実感しています。

来年度に向けて

子どもたちを取り巻くこの環境の中で、より豊かな感動体験の創造と家庭・地域との協力体制の強化に努めると共に、地域の教育力を十分活かせるようにしていきたいと思えます。